

事業所名: グループホーム来夢

作成日: 2025 年 3 月 14 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域との付き合い	ご利用者が地域と繋がりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として交流していく。	①SC活動を通して、ボランティアの方々と交流し、お話しボランティアや高校生等との交流に繋げる。 ②近隣の認知症カフェにご利用者と一緒に行き、地域との関わりをもっていく。	24 ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアの実践	「自分がされたら嫌なケアはしない」を基本に外部研修に参加し、身体拘束廃止・虐待防止の知識を得るとともに、不適切なご利用者への言動やケアを注意し合える関係性を構築する。	①不適切ケアに通じる行為があった際、身体拘束委員会への報告のルートを明確にし、マニュアルの見直しを適時行う。 ②虐待防止委員会も同じ日時で行われており、記録の方法を検討する。	12 ヶ月
3	26	チームでつくる介護計画とモニタリング	ご本人がより良く暮らす為の課題とケアのあり方について、アセスメント項目を増やし、ご本人と家族の要望を伺いながら現状に即した介護計画が作成できる。	①生活歴や心身状況の能力、認知能力、介助理由、各活動の要望、解決策等をアセスメントに増やし、行動障害の背景、事故発生時に分析した内容と対策もアセスメントに追記していく。 ②アセスメント内容、ケア内容に基づき、3表を含めた個別サービス計画を作成していく。	24 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月